

# こんかいのゾーン

## SCHEDULE

日付	予定
8/20 月	
8/21 火	
8/22 水	
8/23 木	
8/24 金	
8/25 土	
8/26 日	
8/27 月	定例ミーティング

## こんかいの根津野菜



### 【根津寄せにわ栽培日誌】

8月19日

種植えから2週間、どの野菜も順調に大きく育っています🌱

発芽までが難しいと言われていたニンジンも無事芽吹き、間引きを行いました！

お水をタンクに入れてくださったり、強風の時に支柱を立ててくださったりと、お店の方には本当に感謝しかありません。



## なつやすみ遠征レポート -中国・敦煌-

敦煌(Dunhuang)は古都・西安から西北西におよそ1700km、夜行列車で22時間ほどの距離にある、砂漠の中の都市です。かつてはシルクロードの分岐点として栄えたオアシス都市です。

4世紀ごろから莫高窟という、岩山に横穴を開けて、中心には仏像を置き、周囲には壁画を描いたものが1000年にも渡って形成され続けました。700を超える洞穴が存在しており、その一部に入ることができます。現在では世界遺産に登録されており、文化遺産の登録基準を全て満たしている貴重な遺産です。(他にはヴェネツィアとその渦)

莫高窟へは、敦煌市中心部から車で30分ほど。鉄道駅や空港に近い、敦煌莫高窟数字展示中心に向かい、チケットを購入し、敦煌と莫高窟を説明する2本の映像を見たあとに、バスに乗って、移動します。莫高窟の近くでは、日本人ガイドがおり、運良く日本人と判断されれば、そのガイドの日本語による案内を聞きながら、洞穴を8つ回ることができます。

それぞれの莫高窟は、前室、通路、主室の3部屋から構成されており、主室に仏像(塑像)が配されています。仏像の姿形、壁画に描かれる絵、屋根の作り、床のタイルの絵などは全て時代によって異なっており、上書きされるように壁画が描かれたり、タイルが敷かれたりしている部屋もあります。特に、初期の頃の壁画の人の顔はインド人の風貌を備えており、文化の流れを感じるとともに、時代が下るにつれて中国人に見える顔へと変化していくことが面白く感じられます。

この他にも、敦煌には地質を楽しむツアー、砂漠の中のオアシスの風景を楽しむスポット、中心部の歩行者天国の部分にある夜市など見所が沢山あります。オアシスを楽しむスポットでは、砂漠を歩いたり、ラクダに乗ったりすることができ、また砂山の上からオアシスを眺めることができるため、シルクロードを歩いた人々の心持ちはほんの少しだけ理解できるかもしれません。

そして北京よりもずっと西にあり、日の入りの時刻はとても遅く、夜8時を越えてもまだ明るいため、夜市も必然的に遅くまで開かれています。23時を過ぎても広場や店では多くの人が飲み食いを楽しみ、また様々な品物を見て回っています。

日本からは遠い場所にあります。歴史的、風景的魅力が詰まった都市な上、羊肉やラバ肉を楽しむこともできます。遥かなる歴史の残り香を漂わせる街はどっこも人を惹きつけてやみません。

こんかいの一言▽井上：今年の甲子園はいつもにも増して面白い試合が多いですね。▽櫻本：根津のプランターで少しずつ野菜が育ってきました。いまから収穫期が楽しみです。▽木村：久々にとなりのトトロを見て、「お父さん」のような余裕のある人間になりたいと思いました。▽原：中国は広過ぎて何度も行かないとまわれませんね。▽秋月：歯が痛いのでこんなに大変なんだな……と思い知りました。▽時丸：涼しくなると逆に、気温が高いことの体への負担のすごさを感じます。▽久保田：暑さがだいぶ和らいました▽植田：今年も甲子園を見に行きました。